

## インターバンクの声（2015年4月7日）

昨夜のニューヨーク市場の動きをどれ程の方が素直に受けとめたのだろうか。イースター休暇の続くロンドン市場は休場、ニューヨーク市場も多国籍国家のため祝日設定はされていないが、少なからずいるキリスト教信者の方々は休暇を取る人も多い。ニューヨーク時間の担当者に聞いても、時々市場が閉まっていると思うくらい閑散となる場面が度々あったようだ。週末の雇用統計結果から米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げ時期を遅らせるとの見方が広がったことで、株式市場が上昇したことには理解し易いと思われるが、ドルが対円で119円台、それも半ば過ぎまで上昇したことには少し驚かされた。経済指標の発表はISM非製造業景気指数くらいで、ニューヨーク連銀のダドリー総裁の発言が影響したとの見方もあるが、いずれも時間的にはドルが上昇し始める随分前の材料だ。要するにドルの長期的な上昇予想に根本的な変化なしとの考えがベースなのだろうが、市場が相当薄かったことを考慮しておく必要はありそうだ。ユーロ買いが3月半ば以降に数回上昇を試す都度1.10ドル台中盤で抑えられていることも興味深い。月末の米連邦公開市場委員会（FOMC）と第1・四半期のGDP速報値の発表がある29日までレンジ相場になるとの声も聞くが、どこかで籐が外れれば想定外の相場展開が始まることになる可能性もありそうだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。